



町議会に関する情報は「議会ホームページ」へ

かみとんだ

議会だより

子ども達の声
議場に響く

表紙関連記事は …… P1~2

町民インタビュー …… 裏面

第28回 回熊野マラソンが開催されました！

2026
3
No.193

発行／和歌山県上富田町議会 編集／議会広報特別委員会
〒649-2192 和歌山県西牟婁郡上富田町朝来763
TEL(0739)47-0550 FAX(0739)47-5959



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



第24回 新春子ども議会



1番

藪中 陽翔 議員
(生馬小)



質問
内容

安全で快適な環境づくり

私は、私たちが考えた提案が前向きに検討され
そうなのが、とてもうれしかったです。それと、他
の学校の提案の3つが熊関連のことだったのが、
びっくりしました。最後に、こんな貴重な体験をさ
せてくれてありがとうございました。

2番

土屋 結成 議員
(市ノ瀬小)



質問
内容

熊やイノシシといった 野生動物の対策

クラスみんなの代表として、みんなで考えた質
問を発表するのは緊張したけど、とてもいい経験に
なって、とてもよかったです。

3番

山口 穂高 議員
(岡小)



質問
内容

きれいで住みよい上富田町を つくるための環境整備

初めての経験だったけど、みんなで考えた質問
を言えてよかったです。



4番

西 つばさ 議員
(朝来小)



質問
内容

クマ対策の取り組みについて

新春子ども議会で、意見をしっかり述べる事ができて、とてもうれしいです。私以外にも、たくさんの方が意見と答弁を言っていて、長いのにすごいなと思いました。

5番

田上 夏暉 議員
(朝来小)



質問
内容

かみとんだエコバッグ
デザインキャンペーン

自分たちで考えた意見に、真剣に答えてくれてうれしかったです。将来も、よりよい町にしていけるように、勉強を頑張ろうと思いました。

6番

松原 圭亮 議員
(岩田小)



質問
内容

備えたいクマ対策

初めはとても緊張しましたが、落ち着いて発表できるように、周りの人とコミュニケーションをとって緊張をほぐしました。練習の成果もあり、自信をもって発表できました。これから色々な場面で発表する機会が増えると思うので、積極的に自信を持って頑張りたいと思います。

7番

野崎 七海 議員
(朝来小)



質問
内容

子ども観光大使の取り組みについて

私は、新春子ども議会で初めて参加して、ちょっと緊張しました。けれど、ハキハキと言えたり、みんなに聞こえる声で言ったりするのができたので、よかったです。あと、他の小学校の意見を聞いて、上富田町をよりよくするためには、まだまだたくさんの取り組みがあると思いました。また、町の答弁を聞いて、費用の面でできないことがあるけれど、自分達だけでできるとたくさんあると分かったので、これから取り組んでいきたいです。良い経験ができました。

議 長

8番

茶木 大穂 議員
(朝来小)



議長を務めさせていただき、大変良い経験になりました。実現する上での問題なども、分かりやすい答弁をしていただいて、議会で考えるべきことについて体験できたと思います。

9番

松本 ひより 議員
(市ノ瀬小)



子ども議会で議長を務め、全体を見ながら進行する難しさと責任の重さを感じました。緊張しましたが、発言しやすい雰囲気意識して進めることができ、良い経験になりました。

目次



- 第24回 新春子ども議会 P.1～2
- 委員会レポート P.10
- 議会報告、決算審査特別委員会 P.11～12
- 町民インタビュー 裏面
池田和隆さんにお聞きしました!



動画配信も
しています!



議会 YouTube
QRコード



中井 照恵 議員

1. 災害に備えるために
2. 地域の美化活動を支えるボランティアについて
3. 教育現場における DX の活用について
4. 子育て支援の充実について



YouTube QR コード

学びやすさを
机から

災害に備えるために

問 上富田町では、災害発生後の罹災証明書の申請手続きはどのように進められているのか。

答 現時点での罹災証明書の申請方法は、申請書・本人確認書類・被害状況が分かる資料を、窓口へ提出するか、同じ書類を郵送するかのどちらかである。

問 町のマイナンバーカード取得者数は約96%になっている。このマイナンバーカードを利用し、電子申請でも罹災証明書の申請手続きができるようにすべきでは。

答 将来的には電子申請の導入を検討しているが、まずはマイナポータルを活用した申請を主軸とし、電子申請の受付体制づくりを進めていく。



教育現場における DX の活用について

問 上富田町でも、教科書は学校に置き、家庭学習でタブレットを使用する『置き勉』の取り組みを考えてはどうか。

答 これまで、タブレットの運用、フィルタリングやセキュリティなど様々な課題があり、家庭学習での活用はできていなかった。今後は、第2期 GIGA スクール構想に合わせ、自宅での利用もできるよう、学びを持続可能なものとして、それに伴うタブレットの持ち帰りのルールについても見直しを進めたい。

問 学習環境整備のため、学習机の天板拡張器具の導入を進めてはどうか。

答 机にタブレットや教科書を広げると作業スペースがいっぱいになる状況は見受けられている。拡張天板導入に向けては、今後、町で相談していく。



※この他、2、4の項目についても質問をしています。



栗田 八郎 議員

1. 防災対策について
2. 木造、木質化について



YouTube QR コード

生命と財産を
守る

自衛隊との関係強化について

問 自衛隊と町は、現状どのような取組をされているのか。

答 町が実施する防災訓練に自衛隊の派遣やロープワーク訓練、車両展示のご協力をいただき、陸上自衛隊第37普通科連隊が上富田スポーツセンターで訓練を実施し、旧白浜空港からの補給品の受領などを行う兵たん訓練、電報指揮所の開設、後方支援部隊の開設などとなる。

問 広域防災拠点指定を踏まえて、自衛隊との関係強化に対する町長の考えは。

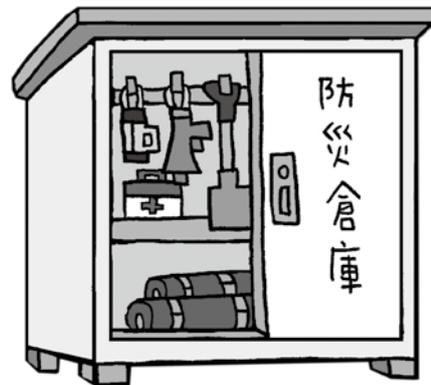
答 災害時における自衛隊との連携については、上富田町地域防災計画の中で、派遣要請から受入れ、その後の活動における協力体制等について定めている。災害発生後の自衛隊の活動については、被害状況の把握、避難の援助、遭難者の捜索・救助、水防活動、消防活動、道路または水路の警戒、応急医療、救護、防疫等の支援、通信支援、人員及び物資の緊急輸送、炊飯または給水の援助、危険物の保全及び除去、その他臨機の必要に応じ、自衛隊の能力上で可能なものについては所要の措置を取ると至った多岐にわたる活動にご協力をいただく。町では、災害対策本部の総合調整室が派遣部隊の指揮官と調整に当たり、自衛隊との緊密な連携を図るため、自衛隊の本部、事務室を設

けるといったことも定めている。これらについては、地域防災計画の中の災害応急対策・復旧復興計画で定めているが、円滑に実施するため、災害発生前である災害予防計画において、総務課は平常時から連携体制の強化や派遣の要請手続の明確化など、自衛隊との連携体制の強化を図ると定めている。連携体制の強化については、ご指摘のとおり、充実したものには至っていないと考えられる。上富田スポーツセンターの広域防災拠点の指定なども踏まえた、今後の強化に向けて、検討していく。

木造、木質化について

問 上富田中学校の木造建築に対する町長のお考えはどうか。

答 前回の議会でも答弁したが、町では、上富田町木材利用方針に基づき、整備する公共建築物には、低層建築物は原則として木造化を図り、低層以外の建物についても可能な限り紀州材を使用したいと考えている。今後、福祉費や公共事業の増高、また広域圏事業などに対する財政負担が必要となってくる。公共建築物の改修や新築の検討時には、費用対効果を踏まえ慎重に検討を行い、木造建築が難しい場合でも内装などの木質化を図ることで可能な限り紀州材を利用したいと考えている。





正垣 耕平 議員

- クマ対策・住民不安の解消について
- 災害時の排水インフラ連絡体制について



YouTube QR コード

リスクに気づき
動ける町に

クマ対策・住民不安の解消について

問 国が示したクマ被害対策パッケージについて、緊急、短期、中期と3区分の考え方を踏まえて、上富田町として優先して取り組むべき項目はどれだと判断しているのか、町の見解は。

答 緊急的な対応に関しては、都道府県、市町村等と連携した、出没時の安全確保だと思っており、これは着手済みとなっている。短期的な取り組みについては、河川における出没対策のための樹木伐採や占用許可円滑化等が挙げられる。

問 ウォーキングを控えたりと健康維持のための活動が少なくなった。と、生活の質そのものに関わる変化こそ、見逃してはならない間接的な被害だと考える。安心安全な暮らしを守る観点から、現状認識と今後の方向性については。

答 目撃情報が相次ぐ状況で、事故は起こっていないものの、夕方、夜間の活動自粛、趣味の制限、通学路への不安といった、日常生活における行動が制限されている状況は、深刻な被害であると認識をしている。

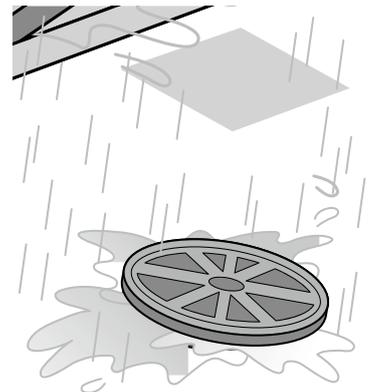
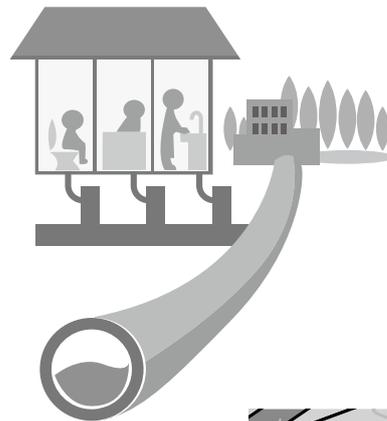
直接的な人身被害を防ぐことはもちろん、住民が安心して生活できる環境を整備することが間接的な被害の解消につながる。今後、取組について具体的に検討していく。



災害時の排水インフラ連絡体制について

問 大規模災害時、下水道や農業集落排水が機能不全に陥ると、生活衛生環境の悪化や避難所運営の停滞など被害は一気に広がる。災害対策本部と施設管理者の情報共有が途切れると判断は遅れる。フローがあっても実際に機能するかは別問題であり、連携や連絡、運用面の実効性が問われる。今後、運用訓練や情報共有訓練を行う予定はあるか。

答 下水道は重要なライフラインであり、平成 28 年に下水道 BCP（業務継続計画）を策定し、発災後の行動指針を明確にしている。発災直後は災害対策本部と連携し、人員要請や被災状況確認を実施。運用訓練や情報伝達訓練を重ねているが、他部局や民間との連携は十分とはいえ今後課題と捉え、引き続き対応力向上に向けた取り組みを進めていく。





吉本和広 議員

1. コミュニティバスの改善について
2. 物価高騰対策について
3. 避難所のマンホールトイレについて
4. 避難所のダンボールベッドについて
5. 不法投棄について
6. 紀南病院等の赤字問題について



YouTube QR コード

町独自の
物価高騰対策を

コミュニティバスの改善について

問 副町長さんは、私の質問に「運転手が確保できれば前向きに検討する。」と6月議会で答弁した。乗っている児童たちが、私に小さなひょうたんバスを大型バスに変えてほしいと言った。バスの大型化は、今の運転手の数でできる。バス会社に大型バスを用意してもらうか、町がひょうたんバスを売って大型を購入するか検討すべきでは。

答 ひょうたんバスは、15年間使用できるということである。すぐに購入するとい



うことは慎重にならざるを得ない。バスの大型化を完全否定するものではないが、バスを大型化することで、「あらばり踏切」が走行できなくなる。ルートが変わる場合は、コミュニティバス検討委員会、地域公共交通会議、町議会の総務文教常任委員会に御相談することになる。

問 夏の暑い日、雨の降る日、寒い日に事前に高齢者は歩いて屋根もないバス停などで待つのは大変である。家の軒先で待てば、外出しやすくなる。町は、乗車状況を見て、狭い道でも入っていける小型に将来かえていきたいと答弁した。デマンドバスについては、普通二種免許で運転できる9人までの車にして、朝来駅前にある明光タクシーに委託すれば、地域公共交通会議で利害が対立せず、ドアツードアも可能になるのではないかと。

答 車両を小型化し、普通二種免許で運行、地元のタクシー会社への委託を検討するという方向性は、運転手確保や、狭い道への進入といった観点から、一つの有効な選択肢であると考えている。車両更新時には、検討を進める。

物価高騰対策について

問 国の重点支援地方交付金だけでなく町独自の水道料の基本料金の3か月免除を18億ある町の財政調整基金から約3000万円支出して実施すべきでは。

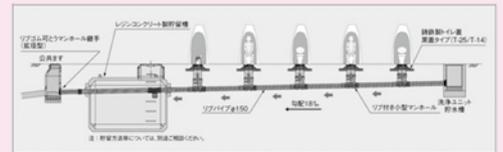
答 商品券配布と事業所も含め水道料の基本料金を2月、3月分免除を行う。両事業を国の交付金にプラスして、町独自に1784万8千円を追加して行う予定。

問 国と町の支援策が早く町民に届くよう、追加議案として今議会に出すべきでは。

答 明日の議案審議に追加議案として提出できるように準備している。

避難所のマンホールトイレについて

問 昨年6月議会で町の下水は、くみ上げ式や真空式で災害時に使えなくなる可能性があり、避難所へは、ため込み式マンホールトイレ設置が必要と質問したのに対し、設置すると答弁された。衛生面も考えプール等の水を使い流せて、かつ下水が使えない場合、貯められる両方を兼ね備えたマンホールトイレになるか。50人に1基、男女の割合は1対3にするか。



答 下水にも流せ、下水が使えない場合には貯められる貯留型マンホールトイレにし、50人に1基、男女の割合は1対3にする方向で検討中。

※この他、4, 5, 6の項目についても質問をしています。



平田美穂 議員

1. 彦五郎公園の現状と課題について
2. 不登校支援と相談しやすい環境づくりについて



YouTube QR コード

彦五郎公園を
使いやすい場所に

彦五郎公園の現状と課題について

・夜間の安全対策について

問 彦五郎公園は散歩や子供の遊び場、地域住民の交流の場として長年親しまれているが、街灯が少なく、夕方以降は暗くて不安を感じるとの声が多い。特に冬季は日没が早く、午後5時頃には利用を控える状況である。周辺地域で熊のような動物の目撃情報もあり、防犯や歩行者の安全確保の面からも、現在の街灯配置や明るさは十分とは言えないのではないか。街灯の追加設置など、具体的な改善策を考えているか。

答 公園内には現在8基の街灯があるが、ウォーキングを目的としたものではなく、間隔にばらつきがあり、防犯や夜間の安全確保の観点で十分とは考えていない。日没後に確認したところ暗い箇所があることも認識している。令和6年度にはLED照明にしたところである。今後は河川管理道路である堤防部分について、県と協議し、街灯の追加設置を前向きに検討する。

・魅力的な滞在環境の整備について

問 彦五郎公園では、散歩途中に腰を下ろして休憩したり、住民同士が交流できる環境が十分とは言えず、通り抜けるだけの公園になっている。ベンチは高齢者の健康維持や、子どもを見守る保護者の交流の場として重要であることから、ベンチ増設の検討を求める。

答 公園内には13基のベンチがあり、町内他公園と比べても数は多く、不足しているとは考えていない。ただし、利用しづらい場所にあり、使われていないベンチがあるため、増設ではなく、利用状況を踏まえた配置の見直しにより有効活用を図り、安心して利用できる公園整備に取り組む。



教育センターひだまり

不登校支援と相談しやすい環境づくりについて

・不登校の現状と課題

問 全国的に不登校が増加し、和歌山県でも過去最多となっている。本町においても子供の学校への行きづら

さは複雑化していると感じる。教育委員会として、不登校の現状をどのように把握・分析し、どのような対策を講じているのか。また、子供が学校に行きたくないと言い出した際、保護者や教員はどう向き合うべきか。

答 本町の不登校児童生徒数は全国・県平均より僅かに低いが、増加傾向にある。毎月欠席状況を把握し、長期欠席者の動向を確認している。要因は人間関係、不安、生活リズム、学業不振、家庭状況など多岐にわたるため、本人だけでなく家庭への支援も重要と認識している。

・支援策の現状とサポート体制

問 教育支援センターひだまりや専門職配置、オンライン学習、別室登校、家庭訪問など、具体的な支援内容と、保護者・教員への支援について示されたい。

答 担任を中心に家庭訪問や連絡を行い、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等と連携して組織的に支援している。ひだまりでは学習・交流活動を行い、外部交流の機会も設けている。別室登校や段階的復帰支援を実施し、オンライン学習は体制整備を検討中である。

・どこにも通っていない児童生徒への対応

問 学校や支援機関に通っていない児童生徒の人数と、その支援の在り方を問う。

答 10月末時点で完全不登校は小中各3名である。メールや電話等で接点を保ち、孤立を防ぐことを重視している。学校との接点を拒む家庭には、関係機関と連携し継続的な支援を行う。

・今後の方向性

問 不登校は別の学びを選ぶことでもあり、学習権の保障が重要である。熊本県高森町のICT活用事例も踏まえ、本町の今後の支援の方向性を問う。

答 相談しやすさ、学びの継続、安心できる居場所づくりを重視する。ICT活用や訪問支援、ひだまり等の機能充実を進め、関係機関と連携し、途切れない支援を継続していく。



山本 哲也 議員

1. スポーツセンター人工芝再利用に伴う撤去費 4,400万円に関する責任と財政影響について
2. 議案説明と解体費算定根拠の不一致が議決に与えた影響について



YouTube QR コード

決裁と説明

スポーツセンター人工芝再利用に伴う撤去費 4,400万円に関する責任と財政影響について

問 人工芝を駐車場へ再利用する判断を把握していたのは、町長と担当課のみであった、この認識に誤りはないか。

町長 私は知っていた。

問 駐車場への再利用判断の最終決裁者は誰か。町長ご自身が決裁したのか。

答 最終の決裁者は私となる。

問 当初に撤去していれば一度で済んだはずの費用が、駐車場への再利用という行政判断によって二重に発生している、この事実はあるか。

答 二重には発生していない。

問 撤去には3,000万から4,000万程度かかるという想定があったと説明されたが、この想定には、根拠となる見積書は存在していたのか。

答 見積書という、明確なものはない。

問 見積りもないまま、数千万円規模の判断を行ったという事実が明らかになった。根拠のない想定に基づき撤去を先送りし、結果として4,400万円が必要になった。この責任は行政トップとしてどのように取るお考えか。

町長 撤去処分に係る費用は必ず発生するものである。

問 必要経費だから損失ではないと説明されるのであれば、行政に損失という概念は存在しないという理解でよろしいか。

町長 私は4,400万円の損失はないと判断をしている。

議案説明と解体費算定根拠の不一致が議決に与えた影響について

問 当時、別に取得した見積りと説明された資料が正式な外部見積書ではなく、参考用の概算設計書であったという認識で間違いないか。

答 間違いない。

問 正式見積りではなかった資料を議案説明で見積りと表現したことにより議員の判断に影響を与えた可能性について、どのように認識しているか。

答 議員の判断に影響を与えるものではないと認識している。

問 正式見積りではなかったにもかかわらず、見積りと説明していたという事実がある以上、議員がどう受け取ったかを行政が認定することはできないのではないか。

町長 私は、議員の判断に影響を与えるものではないと認識している。

委員会レポート

常任委員会は、定例会前等に開催され、所管する事務について町当局から説明を受ける他、現地視察などの調査を行っています。

総務文教常任委員会

【調査日】 令和7年12月1日、12月18日

○かみとんだ地域元気活性化商品券支給事業

目的 生活支援（物価や光熱費上昇）と消費喚起による事業所支援を実施。

・配付券 **町民1人に12,000円（1,000円×12枚）**

・対象者 令和8年1月1日現在、
上富田町に住所を有する者

・配布期間 **令和8年2月下旬～
令和8年3月下旬**

○令和8年度町県民税の申告受付について

町県民税の申告受付は、令和8年2月16日（月）から3月16日（月）まで土日祝日を除き、役場本庁2階大会議室で実施。

期間中、出先申告会場（大谷総合センター、岩田公民館、市ノ瀬農村環境改善センター）については廃止。

○地域づくり事業について

岡ちびっこ公園公衆トイレの完成について

・工事概要 **木造平屋建て(多目的トイレ1箇所)5.1㎡**

・完成日 **令和7年10月31日**



厚生建設常任委員会

【調査日】 令和7年12月2日、12月18日

○県道岩田保呂線について

生馬橋から岩田橋間の未改良区間のうち、生馬橋交差点からプラム食品(株)及び中田食品(株)まで延長370m間が事業化され、現在の状況について、下記のとおり報告を受けた。

- ・改良区間の車両通行規制が困難なことから、仮設道路の計画をしている。
- ・富田川沿いに道路幅員4mの盛土仮設道を建設し迂回通行となる。
- ・令和8年度より工事着手予定。

○シルバー人材センターについて

活動状況について（令和7年）

集計月	7月末	10月末
会員数	56名	61名
会員活動延べ日数	239日	493日

会員募集説明会について

日程	時間	場所
3月11日(水)	13時30分 から	市ノ瀬高齢者憩の家
3月12日(木)	13時30分 から	岩田高齢者憩の家
3月13日(金)	13時30分 から	朝来コミュニティーセンター

議会報告



議案審議 YouTube QR

12月議会 会期(令和7年12月11日~23日) 13日間

私はこう判断 (○賛成、×反対) *議長は採決に加わりません		井	栗	平	松	山	正	家	中	吉	谷	櫻	大	会議の結果
		溪	田	田	井	本	垣	根	井	本	端	木	石	
		港	八	美	孝	哲	耕	谷	照	和	清	正	哲	
		斗	郎	穂	恵	也	平	美	恵	広		行	雄	
令和6年度 歳入歳出 決算認定	一般会計	○	○	○	-	○	○	○	○	×	○	○	○	認定
	特別会計 国民健康保険事業	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	特別会計 宅地造成事業	○	○	○	-	○	○	○	○	×	○	○	○	認定
	特別会計 奨学事業	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	特別会計 介護保険	○	○	○	-	○	○	○	○	×	○	○	○	認定
	特別会計 後期高齢者医療	○	○	○	-	○	○	○	○	×	○	○	○	認定
	特別会計 朝来財産区	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
令和6年度 剰余金処分 及び 決算認定	水道事業会計	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	可決及び認定
	下水道事業会計	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	可決及び認定
条例関係	共同作業場設置条例の一部を改正する条例	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	火入れに関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	○	○	○	-	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
	特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例	○	○	○	-	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
	職員の給与等に関する条例及び会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	町長等の給与及び旅費に関する条例及び町議会議員の報酬及び費用弁償等支給条例の一部を改正する条例	○	○	×	-	×	○	○	○	×	○	○	×	可決
令和7年度 補正予算	一般会計(第4号)	○	○	×	-	×	○	○	○	○	○	×	○	可決
	一般会計(第5号)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	特別会計等 国保、後期高齢者医療、 宅地造成、介護、朝来財 産区、水道、下水道	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
財産の処分	財産の処分	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
人事	農業委員会委員の任命(8名)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
その他	調停の成立	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	工事請負変更契約の締結、公の施設の指定管理者の指定、訴えの提起	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

決算審査特別委員会（令和6年度決算）

（単位：円）

会計名		歳入	歳出	歳入歳出差引額
一般会計		8,984,757,955	8,864,124,683	120,633,272
特別会計	国民健康保険事業	1,859,739,927	1,855,452,281	4,287,646
	宅地造成事業	224,195,104	98,376,632	125,818,472
	奨学事業	4,548,437	4,548,437	0
	介護保険	1,713,766,646	1,633,452,144	80,314,502
	後期高齢者医療	393,793,233	388,903,433	4,889,800
	朝来財産区	12,816,527	11,217,313	1,599,214
水道事業会計	収益的事業	537,241,267	423,723,761	113,517,506
	資本的事業	133,390,776	354,177,023	△ 220,786,247
下水道事業会計	収益的事業	489,579,708	466,846,086	22,733,622
	資本的事業	104,917,000	228,336,858	△ 123,419,858

委員長報告（抜粋）

先の定例会において、決算審査特別委員会に審査を付託されました9議案について、審査の経過と結果についてご報告いたします。本委員会は、議長、監査委員を除く、議員10名をもって構成され、委員長に、私、家根谷美智子が、副委員長に平田美穂委員が選任されました。延べ7日間にわたり委員会を開催し、関係書類をもとに、所管課から詳細な説明を受け、予算執行が適正であったか等、慎重に審査を行いました。その結果、全ての議案を「認定すべきもの」、または「可決及び認定すべきもの」と決定いたしました。審査の経過及び結果については12月定例会で委員長が報告を行い、町当局に対しては審査において出された意見や**指摘事項**を後年度の予算編成、行政執行に生かされるよう求めるとともに、今後も町民の要望把握に努め、施策や事業の精査・検証を行いながら行財政運営を効率的に行うよう要望いたしました。



●町への指摘事項

スポーツセンター人工芝改修工事 請負費について

サッカー場の芝張替え事業において、耐用年数が経過した人工芝をリサイクル資材として再利用するにあたり、駐車場へ配置したことは用途として適当ではなかったと認められる。また、その配置について事前の説明がなされないまま実施された結果、後に住民からの指摘を受け、再度廃棄を検討する事態に陥っている。このことから、当初の計画段階における検討及び説明の在り方に問題があったと言わざるを得ない。今後は、再利用資材の活用にあたって、その設置場所や目的の妥当性を十分に検討するとともに、適切に事業を進めるよう求める。

決算審査特別委員会
委員長 家根谷 美智子

第28回

紀州回熊野マラソン大会が開催されました。

池田 和隆 実行委員長さんにお話を聞きました。



Q 委員長就任後2回目となる〇熊野マラソン大会ですが、運営にあたって特に苦労されたことや感じていることは？

A 心配している点は、参加者が集まるかどうかというところです。実行委員会は1年間かけて準備を進めていますが、実際の大会運営は役場職員さんやボランティアさんに支えられて成り立っており、その重要性を強く感じています。

Q 今後どのような大会になってほしいですか？

A 〇熊野マラソン大会や、上富田町のファンが少しずつ増え、毎年参加してくれる人がその仲間を誘ってくれ、輪が広がっていく大会になってほしいです。参加者同士が応援しあい、ゴールを喜び合えるような大会を目指しています。



山田さん

● 広報グループ
SNSの活用等



坂本さん

● おもてなしグループ
給水所の運営等



山下さん

● 魅力向上グループ
参加賞、完走賞の企画等

編集後記

新春子ども議会では各学校から代表者が質問をして、残りの6年生はオンライン授業で議場の様子を見て、学習しています。子ども達は、少し緊張していましたが、はきはき質問していました。とても良かったです。議会に興味を持ってもらい、上富田町議会議員になっていただきたい。〇熊野マラソン大会では、参加ランナーが少なくなって来ました。その為実行委員会の皆さんは色々な企画をして、ランナーが楽しく走り多くの人に発信して、魅力ある〇熊野マラソン大会に努力しています。今回の参加ランナーの人たちが上富田町の良さなど発信していただき、町民の人達も〇熊野マラソンを通じて絆を深め、防災力を高めて頂きたいです。

(谷端 清)

議会広報特別委員会

委員長	谷 端	清
副委員長	中 井	照 恵
委員	井 浜	港 斗
委員	平 田	美 穂
委員	山 本	哲 也
委員	正 垣	耕 平



町議会に関する情報は「議会ホームページ」へ



議会 YouTube QRコード